


行政視察等報告書

令和5年7月25日

境港市議会
議長 荒井 秀行 様

会派名 自由未来
代表者 永井 章 

下記のとおり行政視察（調査・研修）を行ったので、その結果を報告します。

記

1 視察等期間	令和5年7月24日（月）
2 視察等先 及び内容	海上保安第八管区海上保安本部 美保航空基地 航空基地見学
3 視察等議員	永井章、景山憲、加藤文治、松本晶彦、伊藤康弘、吉井 巧 【随行】議会事務局 堀田係長
4 総経費	合計（6名）3,510円（一人当たり 585円） ※一人当たり経費に端数が出る場合は円未満切り捨て ※随行職員の経費は含めていない
5 所見等	別紙のとおり

視察先対応者：

【第八管区海上保安本部 美保航空基地】

川島 喜与志 基地長

村松 強 業務統括管理官

内 容：航空基地見学

令和5年7月24日（月）

10：00	美保航空基地集合、基地長挨拶
10：10	基地業務説明
11：00	基地見学（格納庫、航空機）
11：30	救難訓練説明・実演
12：00	見学終了・解散

所 感：

（吉井 巧）

市内にある海上保安本部美保航空基地を訪れ、航空基地の現況や海上保安部全体の業務、そして今後の展望など説明を受けました。近くにあっても知らないことが多く、海上での領域警戒や警護、避難救助や離島からの病人搬送だけではなく、近年多発する大雨災害の救助支援や海外被災地への救援、そして美しい海を守るために海洋環境保全対策として海洋汚染の調査研究や、航路標識等の業務に使用する新たな技術の試験研究を行うなど、様々な面で海を守っていることを、今回の視察で学ぶことができました。

説明の中で課題とされることは、美保航空基地に配備されている航空機（ボンバル300、アグスタ139）の老朽化で、予算の関係上新しい航空機の配備などは難しく日々の整備の重要性を感じました。

近年は、海上保安官の成り手不足という話もあり、基地見学で学んだことを伝え、海上保安部の業務内容と必要性を地域の皆様に伝えていかなければならないと感じました。そのような中でも、近年、全国的に女性保安官の採用は増えていて、美保航空基地でも女性の副操縦士や整備員等が配置され活躍しておられました。そうした背景の裏では、女性専用更衣室やトイレなどの整備が一部では追いついておらず、今後より一層の施設整備の緊急性を感じました。 （以上）